

令和5年産 紀南の梅産地情報

2023/03/15

1. 本年の梅の開花は、主力の南高で満開期が2月16日、開花終期は3月1日といずれも平年より2日程度遅くなった。また、開花期間は19日となり、授粉樹でもある小梅との満開期は1日程度のずれとなった。



開花始めには気温は高く推移し、満開期前に気温が低下したものの、その後は天気も安定したことから、本年産の作柄に期待している。

■ J A 紀南の梅の開花状況（平地標準調査地＝和歌山県田辺市中三栖）

品種 / 年		平年(H25~R4)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
小梅	開花始め	2/7~8	1/28	2/11	2/16	2/10
	満開期	2/16	2/7	2/15	3/1	2/15
	開花終期	2/29	2/20	2/28	3/14	3/1
	開花期間	23日	24日	18日	27日	20日
古城	開花始め	2/15	2/5	2/14	3/1	2/17
	満開期	2/23~24	2/13	2/16	3/9	2/24
	開花終期	3/8	2/29	3/2	3/16	3/12
	開花期間	22日	25日	17日	16日	24日
南高	開花始め	2/6~7	1/27	2/8	2/14	2/11
	満開期	2/14	2/3	2/14	2/26	2/16
	開花終期	2/27	2/16	2/23	3/11	3/1
	開花期間	22日	21日	16日	26日	19日
作柄			開花中気象変動大 4月、5月少雨 不作	開花期間短いが、 天気は安定 4月、5月多雨 平年作	開花期後半受粉環境良好 5月、6月低温 肥大熟期遅れ 平年作	

2. 1月19日の着蕾調査によると、1年枝100節当たりの平均着蕾数は、小梅では前年並みで、平年よりやや少なかった。古城・南高では前年・平年並みとなった。

■ 基準園の着蕾数（1年枝100節当たりの平均着蕾数）

品種 / 年	令和5年	令和4年	平年	前年比	平年比
小梅	83.4	85.8	92.5	97%	90%
古城	83.1	83.7	90.3	99%	92%
南高	55.8	59.4	57.4	94%	97%

3. 本年産の作柄は、開花から収穫期までの気象変化等により大きく左右されるため、現時点で具体的な予測はできない。